

太宰府市公文書館パネル展

「開発と史跡保存—大宰府史跡指定100年を迎えて—」を開催します !!

会期:令和4年1月11日(火)~3月25日(金)

会場:上下水道事業センター1階ビジターフロア(期間中無休、観覧無料)

公文書館では、毎年、収蔵資料などを紹介するパネル展を開催しています。今回は「開発と史跡保存」をテーマにしました。

大正10(1921)年3月、史蹟名勝天然紀念物保存法(同8年施行)により、大宰府跡および水城跡が国の史跡に指定されました。令和3(2021)年は、それから数えて100年という節目の年でした。今回のパネル展は、平成14(2002)年の市制施行20周年、および『太宰府市史』環境資料編刊行を記念して開催された特別展示「太宰府一人と自然の風景」(於 太宰府市文化ふれあい館)のために制作したパネルのうちのいくつかを読み解くことで、太宰府における“開発”と史跡保存の関わりを考えてみようという試みです。右の写真は、それぞれ大宰府跡・水城跡に建つ史跡指定の記念碑で、指定翌年の大正11年に造立されました。

パネル展の後は、事業センターの別棟に公文書館がありますので、ぜひお立ち寄りください。



「史蹟水城跡」碑
(所在地:水城東門跡)



「史蹟太宰府跡」碑
(所在地:大宰府政庁跡南側)

昭和30(1955)年3月1日、いわゆる昭和の大合併で水城村と太宰府町が合併し、新太宰府町が誕生します。翌年明けの『太宰府町公民館報』では、難航の末成立した新町の船出が感慨と共に振り返られ、特記すべき事項の一つとして、町が国民健康保険に加入したことを挙げています(同31年1月25日号)。また、当時の町長森田久は、国民皆保険を目指す国の制度整備が進む中、「新町発足当時までには隣接町村のどこもやっていなかった」時から「当町は先鞭をつけて開始した」と国民健康保険に関する新町の周到な実施ぶりを後に誇らしく語っています(同34年2月25日号)。



確かに戦後の太宰府での国民健康保険制度設立の動きは早く、旧水城村ではすでに同29年9月に組合を設立しています(『太宰府市史』によると、旧太宰府町では同24年に条例を制定するも機能せず)。国民健康保険事業については、当時町村合併計画の中でも協議が必要な事項として取り上げられており、まだ7か町村合併案(太宰府町・二日市町・水城村・御笠村・筑紫村・山口村・山家村)が有力な合併路線として進行していた時、筑紫郡旧御笠部町村合併促進協議会(同29年5月発足)の厚生文化委員会では「各町村共に戦時中保険組合を設立してにがい経験をなめ」「おいそれと設立出来ない状況」だが、すでに水城村が組合を設立していることで「他町村はこれに追いつき加入出来るので、漸次全町に及びよう計画」中と述べられており(『太宰府市史 近現代資料編』)、合併後は水城村に相乗りする形で事業を進めようと協議されていたことが分かります。

結局7か町村の合併は実現せず、最終的に太宰府町と水城村の2か町村が合併することになります。合併後の同30年9月には、当時「無医村」であった水城地区に念願の診療所が設立され(経営は社会福祉法人福岡県済生会に委託)、また旧太宰府町議会で再開の要望が出ていた国民健康保険条例も新町議会で可決、水城診療所設置と同時に新生制度がスタートしました。国民健康保険事業の比較的光滑な展開は、新しい太宰府町にとって町村合併の恩恵の一つとなつた、と言ってもよいのではないのでしょうか。

【バックナンバーはこちら】
ページID 0007241

公文書館 藤田 理子

町村合併の賜? 国民健康保険と無医村の解消

こもんじょ 古文書を捨てる前にお知らせください

~太宰府市公文書館からのお願い~

問い合わせ 文書情報課 公文書館 ☎(921) 2322

公文書館からのお願い

公文書館では、これまで個人の自宅の建替え、蔵の解体などの機会を捉えて、江戸時代や明治時代以降に記された書付や手紙などの古文書、あるいは古い書籍、古写真などの所在確認および調査をしてきました。その際には、公文書館職員が現地に赴き、調査および当面の保存措置をしています。所蔵者の意向によっては、寄贈・寄託を受ける場合もあります。



地域資料調査作成風景

調査の結果、公文書館に収蔵された古文書などについては、一点ごとの調書をもとに、目録(資料リスト)を作成後、プライバシーや個人情報保護に配慮したうえで、地域資料として閲覧公開します。年末になり、そろそろ新年を迎える大掃除の準備を始めるお宅も多いと思います。そうした時に、今述べたような古文書の類が見つかることがあるかもしれません。今の私たちには不要に感じられ、置き場所もないことから捨ててしまおうと思うかもしれませんが、それらは前の時代の人々が遺した足跡をたどる手掛かりとなるものです。地域の歴史や文化をより深く、より豊かに語るための貴重な材料ともなることでしょう。

自宅整理の折などに、そうした古文書などが見つかったら、廃棄処分前にぜひ公文書館までご一報ください。

公文書館のお仕事

太宰府市公文書館は、『太宰府市史』編さん事業が進められる中でその設置が構想され、市史資料室(2006年4月設置)を経て、2014年4月1日に開館しました。



太宰府市公文書館

公文書館には、「文書資料部門」「太宰府学研究センター部門」という2つの活動の柱があります。「文書資料部門」では、以前の町村役場時代の行政文書の保存、また本市が作成した行政文書のうち歴史資料として重要あるいは行政の説明責任を果たすために必要なものの選別・保存などを行っています。一方、「太宰府学研究センター部門」では、地域資料(太宰府地域に伝わる古文書などの類)や、古代から近現代に至るまでの太宰府の歴史に関わる資料・図書を収蔵し、整理・保存および調査研究した成果を『太宰府市公文書館紀要 年報 太宰府学』に公表、あるいは歴史講座で市民の皆さんにお伝えするなどの活動をしています。

また、必要な情報・資料などの検索をお手伝いするレファレンスの対応もしていますので、もし太宰府の歴史や文化について、疑問に思ったことや質問などがあれば、気軽に公文書館にお問い合わせください。

公文書館ってどこ?

公文書館は、太宰府市御笠の上下水道事業センター内にあります。

住所:〒818-0110 福岡県太宰府市御笠5-3-1

電話番号・ファクス番号 ☎FAX(921)2322

上下水道事業センター内

E-mail ☒kobunshokan@city.dazaifu.lg.jp